

平成 29 年 2 月 13 日

各 位

会社名 株式会社サンウッド
代表者名 代表取締役社長 佐々木 義実
(JASDAQ・コード8903)
問合せ先 取締役管理本部長 澤田 正憲
電話 03-5425-2661

固定資産の譲渡による特別利益の計上並びに 業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 2 月 13 日開催の取締役会において、固定資産の譲渡を決議いたしましたのでお知らせいたします。

また、当該固定資産の譲渡に伴う固定資産売却益を特別利益に計上する見込みであること及び最近の業績動向も踏まえ、平成 28 年 5 月 9 日に公表しました平成 29 年 3 月期の業績予想を修正するとともに、期末配当予想を修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 譲渡の理由

当社は、前期よりソリューションや一棟リノベーションを目的とした販売用不動産の取得を積極的に行ってまいりました。既に固定資産として保有していた賃貸用不動産も含め、ポートフォリオの見直しを行う中で当該固定資産購入の意思表示があり、売却することが最善であると判断いたしました。

2. 譲渡資産の内容

資産の名称及び所在地	譲渡益※	現況
店舗 東京都武蔵野市吉祥寺本町一丁目 土地及び建物 70.84 m ² (面積は床面積)	約 84 百万円	賃貸用不動産

譲渡価額は、譲渡先との契約の取り決めにより公表を控えさせていただきます。

※譲渡益は、譲渡価額から帳簿価額を控除した金額を記載しております。

3. 譲渡先の概要

譲渡先は国内の個人ですが、譲渡先との契約の取り決めにより名称の公表は控えさせていただきます。当社と譲渡先との間には、資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者として特記すべき事項はありません。

4. 譲渡の日程

- | | |
|------------|-----------------------|
| (1) 取締役会決議 | 平成 29 年 2 月 13 日 |
| (2) 契約締結日 | 平成 29 年 2 月 13 日 (予定) |
| (3) 物件引渡期日 | 平成 29 年 3 月 30 日 (予定) |

5. 今後の見通し

当該固定資産の譲渡により、平成29年3月期において固定資産売却益約84百万円を計上する見込みであります。これに伴い、平成28年5月9日に公表しました平成29年3月期の業績予想を修正いたします。

6. 平成29年3月期通期業績予想数値の修正

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,850	300	160	140	29.35
今回修正予想(B)	6,950	127	10	81	16.98
増減額(B-A)	△900	△173	△150	△59	—
増減率(%)	△11.5	△57.7	△93.8	△42.1	—
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	8,919	281	168	141	29.29

修正の理由

ポートフォリオ見直しによる固定資産の売却は、会計上は売上高として計上されず、特別利益へ計上される見込みです。また、不動産開発販売事業において、当初計画より契約時期に遅れが発生し、ソリューションの一部の売上計上が来期となる可能性が高くなりました。これにより、売上高、営業利益、経常利益につきまして、前回予想を下回る見通しであります。当期純利益につきましても、上記固定資産の譲渡に伴い固定資産売却益を特別利益に計上する見込みですが、計画を下回る見通しであります。

現時点での契約状況に基づき予想を修正いたしました。当初計画の利益達成を目指し、引続き販売活動に注力いたします。追加の売上計上により業績の回復が見込めた場合には速やかに開示いたします。

7. 期末配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (平成28年5月9日発表)		25.00円	25.00円
今回修正予想		20.00円	20.00円
当期実績	0.00円		
前期実績 (平成28年3月期)	0.00円	25.00円	25.00円

修正の理由

当社の利益配分に関する基本方針は、中長期的な収益動向を勘案したうえで財務体質の強化を図り、内部留保の充実に努めるとともに安定的な利益還元を継続することを基本方針としております。

今回の業績予想が当初計画を下回る見通しとなったことを踏まえ、当期の期末配当予想につきましては前回予想の1株当たり25円から5円減配し、1株当たり20円に修正いたします。

※上記の予想は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて算出したものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は見通しと異なる場合があります。

以上